

初期仕様—入力設定—屋根部材

入力設定

入力標準値 素材長 床壁部材 屋根部材 壁合板 野地合板 床壁加工 屋根加工

小屋組み 屋根梁方式

軒先補正タイプ ☒ 勾配 ☐ 水平

軒先補正 40 mm

水上軒先補正 0 mm

けらば補正 40 mm

軒先形状 ☐ カネ ☒ タツ

軒側ころび止め 外

けらばころび止め 外

けらば型式 指定なし

斜め腕木 妻小壁基準 屋根面45度

野地受材 ☒ なし ☐ あり

野地合板 ☒ 水下基準 ☐ 水上基準

破風鼻隠し 屋根線内側

1F 2F 3F 4F

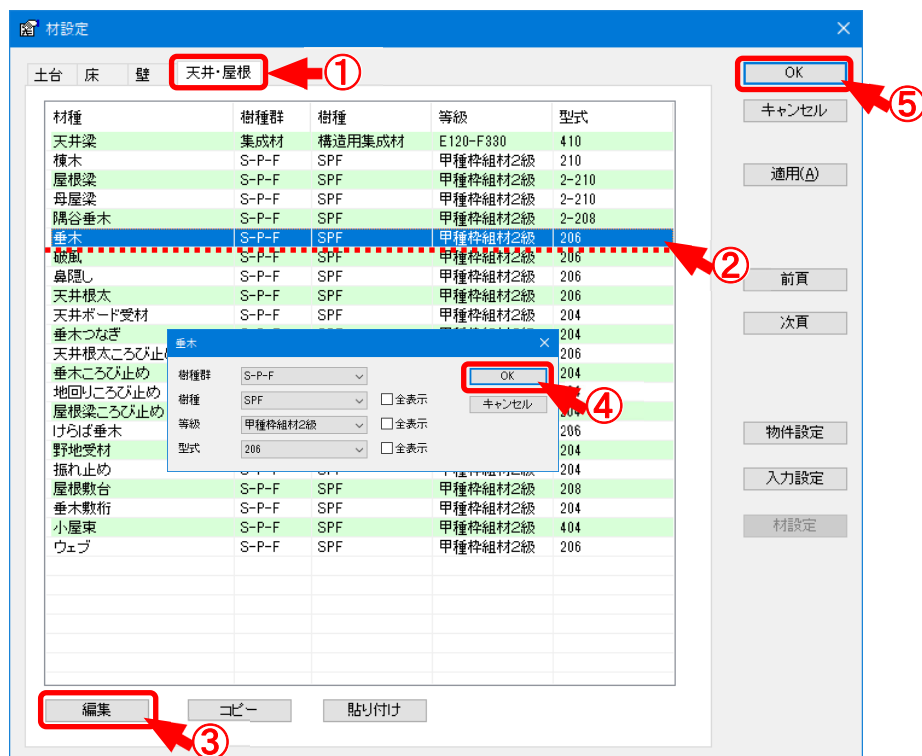
垂木ピッチ 1/2 1/2 0 0

OK キャンセル 適用(A) 前頁 次頁 物件設定 入力設定 材設定

屋根部材では、屋根材関連の部材生成条件を設定します。

- ① 〔初期仕様—入力設定〕の「屋根部材」をクリックします。
- ② けらば型式：垂木とけらば垂木の型式が異なる際に設定します。

初期仕様－材設定－天井・屋根



天井・屋根では、使用する天井部材、屋根部材の樹種群、樹種、等級、型式の設定を行います。

- ① 「初期仕様－材設定」の「天井・屋根」をクリックします。
 - ・キャンセル：設定の操作を取り消します。
 - ・適用：設定した内容が保存されます。
 - ・前頁／次頁：「材設定」の画面の設定タブを切替えます。
 - ・物件設定：「初期仕様－物件設定」に切替えます。
 - ・入力設定：「初期仕様－入力設定」に切替えます。
- ② 設定する材種の行を選択します。
 - ※ トラス上弦材は垂木、下弦材は天井根太の設定と同じです。
- ③ 「編集」をクリックします。
 - ※ マウスの右クリックからでも「編集」「コピー」「貼り付け」を選択できます。
- ④ 「（材種）」の画面が表示されます。
 - ②で選択した材種の樹種群、樹種、等級、型式を設定し、「OK」をクリックします。
 - ・樹種群：「未指定」「D.Fir-L」「Hem-Fir」「S-P-F」「I ビーム」「集成材」「積層材」「その他」「（在来部材）」から選択します。

初期仕様—材設定—天井・屋根

- ・樹種：〔補助—マスター編集〕の「樹種・等級マスター—樹種」で樹種群毎に設定した樹種が選択できます。
「全表示」をクリックすると、「樹種・等級マスター—樹種」で設定した全ての樹種が選択できます。
- ・等級：樹種群で「（在来部材）」を選択した場合、〔補助—マスター編集〕の「樹種・等級マスター—等級—在来部材」で設定した等級が選択できます。
樹種群で「（在来部材）」以外を選択した場合、〔補助—マスター編集〕の「樹種・等級マスター—等級—2×4部材」で設定した等級が選択できます。
「全表示」をクリックすると、「樹種・等級マスター—等級」で設定した全ての等級が選択できます。
- ・型式：〔補助—マスター編集〕の「材メニュー」で材種毎に設定した型式が選択できます。
「全表示」をクリックすると、〔補助—マスター編集〕の「材寸マスター—入力・加工用材寸、合わせ型式構成」で設定した型式が選択できます。

⑤ 「OK」をクリックし、材設定を終了します。

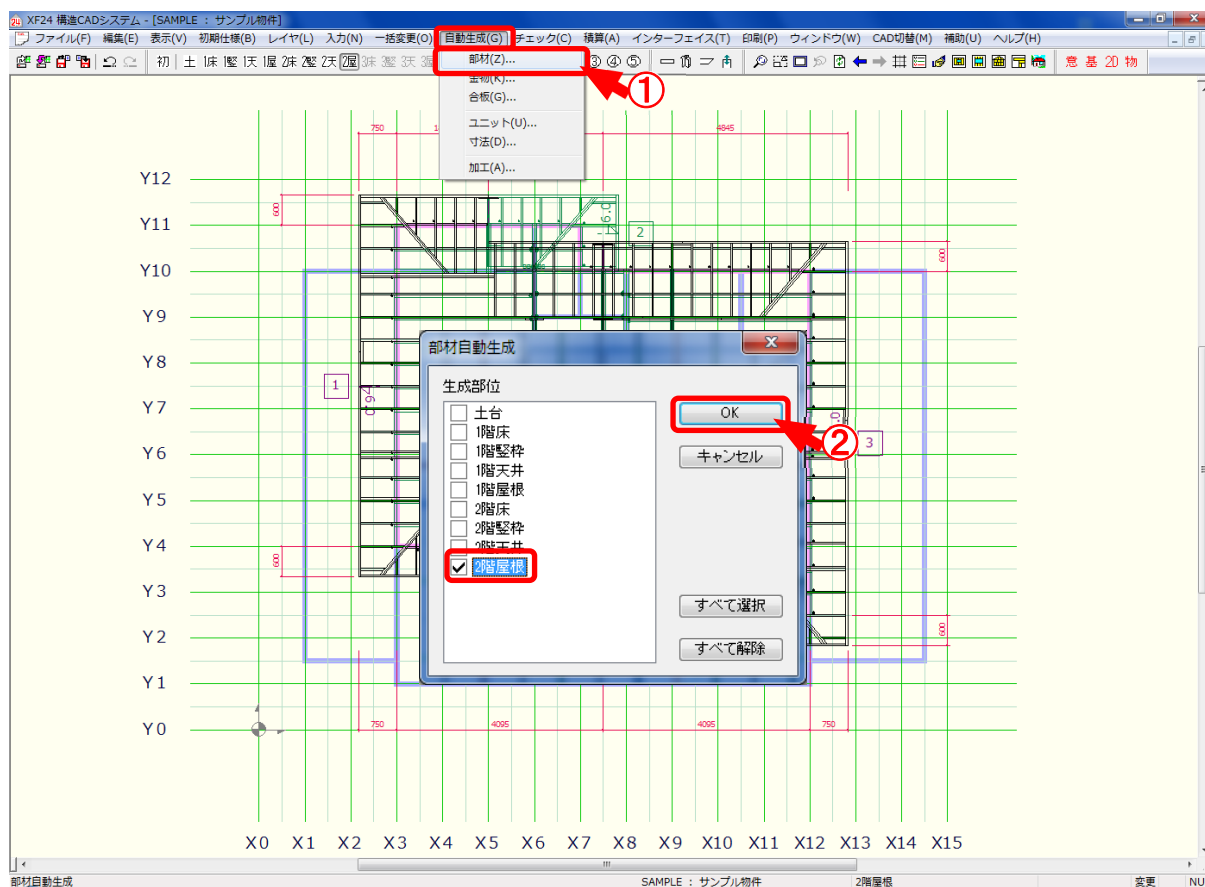
〔自動生成—部材〕を実行した際に、設定した樹種群、樹種、等級、型式で各材種が生成されます。

また、設定した樹種群、樹種、等級、型式が〔入力—要素〕の「配置—（材）」の「材配置」の画面に初期値として表示されます。



各材種にて使用頻度の高い樹種群、樹種、等級、型式を選択すると便利です。

自動生成一部材／屋根



部材／屋根では、屋根部材生成を自動で行います。

- ① 「自動生成－部材」をクリックします。
- ② 「部品自動生成」の画面が表示されます。
生成部位を選択し、「O K」をクリックします。



「すべて選択」「すべて解除」をクリックすると、全部位を選択、解除できます。
チェックボックスをクリックすると、部位ごとに選択もできます。